

生徒会新聞 REVERB 7・8月号

平成26年7月15日発行
柳井学園高等学校
生徒会
<http://www.yanai-g.ed.jp/>
gakuen@yanai-g.ed.jp

G:普通科グローバルコース
B:普通科ビジネスコース
N:衛生看護科を示す。

第九十六回全国高等学校野球選手権大会山口県大会開幕

第九十六回全国高等学校野球選手権大会山口県大会が、七月十二日（土）から県内五会場で開催されました。

本校野球部が試合を行う大会二日目は、雨天順延のため七月十四日（月）九時から津田恒美メモリアルスタジアムで、徳山商工との対戦が行われました。

今年甲子園を知る選手が卒業して初めて迎える夏の大会になりました。選手たちは、自分たちが柳井学園硬式野球部に新たな歴史を刻むという強い気持ちで試合に臨んでいきました。

結果は、二対〇で惜しくも敗れてしまいました。選手たちは皆さんの最後まで諦めない姿は、応援している生徒の皆さんや、見に来ていただいた観客の方々を、大いに感動させてくれました。

一、二年生の選手は、三年生の選手の皆さんから教わったことを生かしていき来年以降も甲子園出場という快挙に向けて、頑張ってください。選手は皆さんは本当にお疲れ様でした。



硬式野球部主将
G3年1組 市場英知
須佐野中学校出身

七月十三日に夏の選手権大会一回戦を津田メモリアルスタジアムで、徳山商工との対戦を迎えます。柳井学園は三年前に一度、甲子園出場を果たしました。しかし大舞台で勝利し、校歌を歌うという夢は叶いませんでした。今年はずいぶん甲子園出場を果たし、そして柳井学園全員の夢である甲子園で勝利し、校歌を歌えるように一戦一戦全力で戦う覚悟です。

野球部による学校周辺の清掃活動

今年、野球部が登校後八時二十分までの間、校内外の清掃活動を行っていただきます。野球部監督の高橋先生によると、この清掃活動で校内外を綺麗にすることは勿論、これを練習の一環として行っているそうです。そして、これを通じて感性を磨き、細かいことに気付くようになり、それが野球に繋がると言われています。毎日行われているこの活動が今の野球部の強さに繋がっていると思えます。

インターハイ出場決定 全国の舞台で健闘を祈る!

平成二十六年全国高等学校総合体育大会（インターハイ）が八月一日から行われます。木村結さん（フェンシング競技）は、八月二日（土）から八月四日（月）に神奈川県藤沢市の神奈川県立体育センター「スポーツアリーナ」で、小池波也登さん（レスリング競技）は、八月四日（月）から八月五日（火）に神奈川県横須賀総合体育館で試合が行われます。木村さんと小池さんの健闘を祈っています。皆さんのご声援、よろしくお祈りします。皆



フェンシング部
G2年 木村 結
柳井中学校出身



レスリング部
G3年1組 小池波也登
上関中学校出身

柳学カップ(クラスマッチ) 各種目で熱戦!

六月十三日（金）に柳学カップが晴天のもと、開催されました。今年度はソフトボール、バレーボール、卓球の三種目が行われました。ソフトボールでは、野球部の生徒は左右逆投げ、逆打ちというハンデルルールが設けられ、ハプニングも盛りだくさんでした。また、試合の合間にキャッチボールをするなど、真剣に取り組む様子も見られました。バレーボールでは、試合前に円陣を組み、掛け声を掛け合うなど盛り上がりを見せました。決勝は二年のBチームとG三年のチームのゲームでした。みんな協力したこと、楽しい思い出になり、団結力もより深まったことでしょう。卓球では、未経験者も多いながらも、それぞれ一生懸命に競技に取り組んでいました。決勝はアドバンストチームとG二年チームの組み合わせとなり、応援も白熱した様子でした。一年生の皆さんは、初めてのクラスマッチでしたがこの学校の良さを深く知る良い機会になったと思います。これから様々な学校行事をエンジョイしていきましょう。今回のクラスマッチは、生徒の一人一人がクラスの仲間と団結して、とても素晴らしいものになったと思います。また、クラスの絆も一段と深まったことだと思います。これから様々な行事、活動があるかと思いますが、今回の柳学カップのように素晴らしいものにしていくことを期待しています。生徒の皆さん、お疲れ様でした。



